



2023年5月31日

各位

会社名 地盤ネットホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 新美輝夫  
(コード番号：6072 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 玉城均  
(TEL. 03-6265-1834)

### 上場維持基準の適合に向けた計画

当社は、2023年3月31日（以下、基準日）時点において、東京証券取引所グロース市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の基準日時点におけるグロース市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなり、時価総額については基準に適合していません。当社は、時価総額に関して2025年3月期までに上場維持基準の適合に向けた計画を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率	時価総額
当社の状況 (基準日時点)	9,895人	112,978単位	1,509百万円	48.80%	3,092百万円
上場維持基準	150人	1,000単位	500百万円	25%	4,000百万円
計画に 記載の項目					○

※ 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

#### 2. 当社の上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

##### (1) 基本方針

当社は、業績の向上及び安定化を図ることで企業価値を向上させ、上場維持基準への適合を目指してまいります。

##### (2) 課題及び取組内容

###### (課題)

当社グループは、創業以来、戸建住宅事業者へ地盤調査・地盤解析等の地盤関連事業を展開していましたが、国内住宅市場の縮小や競合他社との競争による販売単価の下落により事業が低迷してまいりました。このため、グロース市場に要求される高い成長性を市場に示すことが出来ておりませんでした。また、2020年3月期から2022年3月期の3期連続で親会社株主に帰属する当期純損失を計上しており、これらが要因で当社の株価が低迷し、時価総額の基準を満たせていないと認識してまいります。

こういった状況を改善すべく、組織体制を再整備し、2023年3月期より「地盤事業」「BIM Solution事業」「JIBANGOO事業」の3つのセグメントに区分して事業展開し、2023年5月15日に「2023年

3月期決算短信〔日本基準〕(連結)で開示しておりますとおり、売上高2,308百万円(前年同期比4.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益73百万円という結果を残すことが出来ました。引き続き、業績の向上及び安定化を図り、企業価値の向上ひいては株価向上に繋げることで上場維持基準に適合出来るものと考えております。

#### (取組内容)

当社グループの主要な事業領域である国内住宅市場においては、資材価格の高騰や住宅ローン金利の上昇懸念等もあり、新設住宅着工戸数は減少し、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような経営環境にあるため、「地盤事業」「BIM Solution 事業」に経営資源を投下し、これまでの収益構造を再構築させるため下記内容に取組み、業績の向上を図ってまいります。

※ 本日開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する事項」を併せてご参照ください。

#### <地盤事業>

地盤事業につきましては、住宅事業者に地盤調査・地盤解析・部分転圧工事等のサービス提供をしております。国内の住宅市場は厳しい状況にありますが、営業体制の強化をすると共に、BIM Solution 事業との相乗効果により既存顧客との関係強化・新規開拓に取り組んでまいります。また、2023年4月に改良工事業者会として『地盤工事適正化ネットワーク』を設立しました。地盤工事事業者の中で、当社グループの独自基準に賛同された事業者による、お客様から「信用を得る」ネットワークの創成で、地盤工事適正化を推進し、不同沈下事故ゼロを目指し、経営理念である「生活者の不利益解消」の実現に向けて取り組んでまいります。

上記に加え、独自開発した基幹システム SJS (Smart Jiban System) をプラットフォーム化し、システムを利用した案件紹介等の新たなサービスを開発してまいります。

#### <BIM Solution 事業>

BIM Solution 事業につきましては、BIM による3Dパース(完成予想図)・ウォークスルー動画・VRを活用したプレゼンテーションの分野を中心にサービス提供していましたが、2023年3月期よりモデリング業務の請負を開始しております。住宅市場だけでなく、商業施設等の非住宅市場における新たな取引先の拡大を図ってまいります。BIMの生産拠点である連結子会社のJIBANNET ASIA CO., LTD.では、管理体制を強化し、生産性・品質の向上、技術力向上のためのオペレーターの育成と新規採用に取り組んでまいります。

#### <JIBANGOO 事業>

JIBANGOO 事業につきましては、主に新築やリフォームの請負を行っていましたが、セグメント別の損益では赤字を計上してございました。このため、建築事業の請負から設計監理や案件紹介等の手数料ビジネスへシフトチェンジすることで、売上高は減少してしまいましたが、収益性の向上を図ってまいります。

2024年3月期の連結業績予想は売上高2,150百万円、営業利益130百万円、経常利益118百万円、親会社株主に帰属する当期純利益90百万円と利益は増加しておりますが、まだ構造改革の途中であり、上記取組みの成果が表れて株価に反映されると予想される2025年3月期までに上場維持基準への適合を目指してまいります。

以上